

診療報酬と病院経営



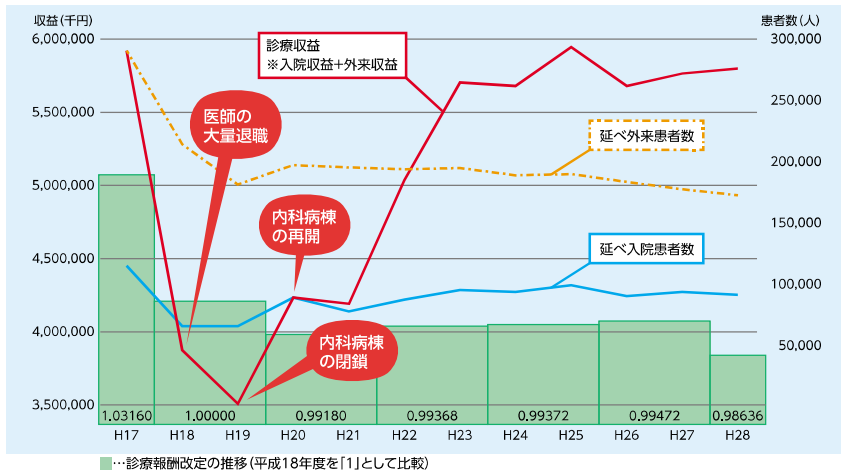
シスちゃん
病院事務員。
診療情報管理士の
資格を持っている



ココロちゃん
新人看護師。
好きなコトバは
「いたわり」



診療収益と患者数の年度推移



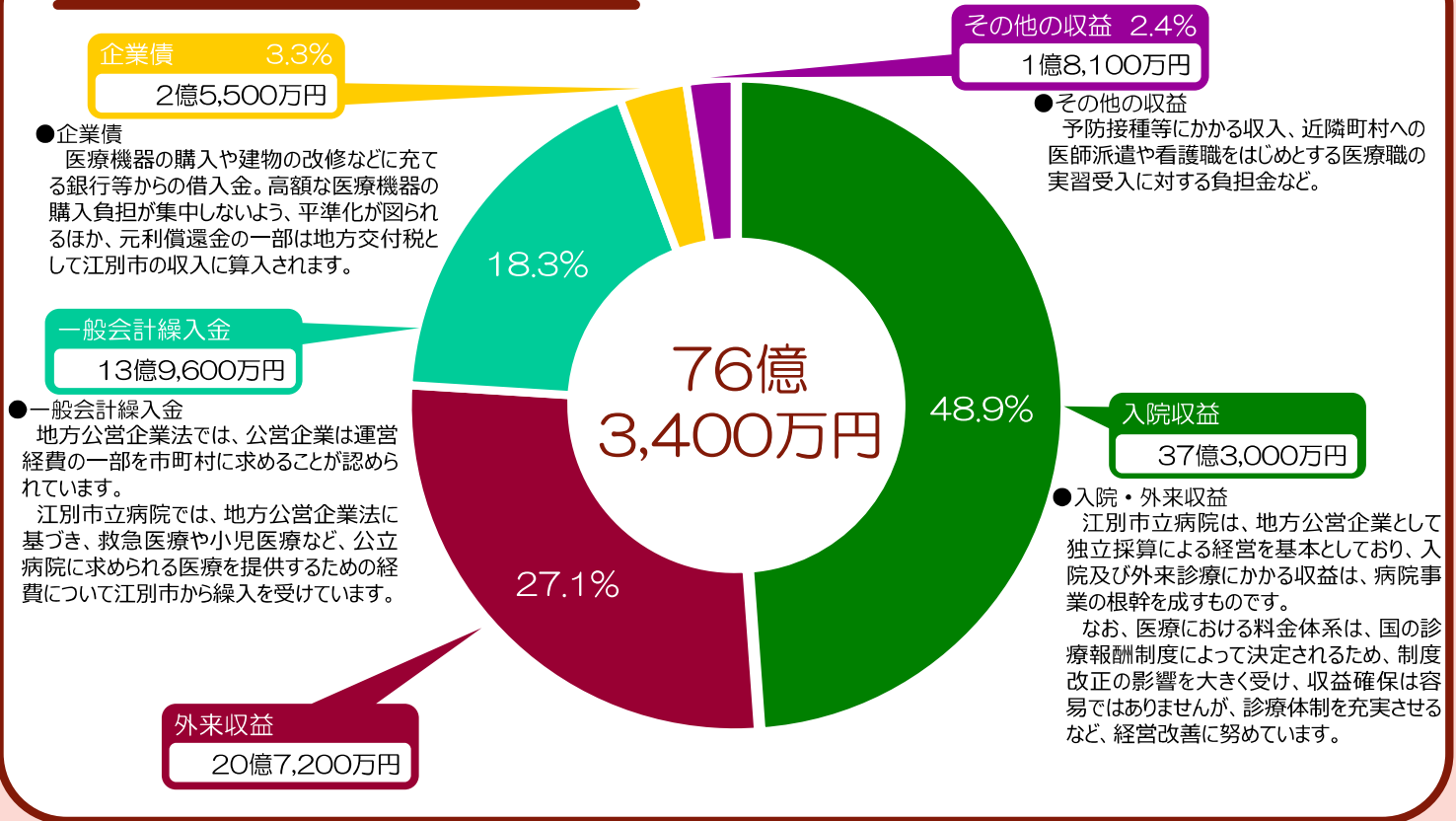
左の棒グラフは、2年に1度改定となる診療報酬の推移を、平成18年度を「1」として表したもので、折れ線グラフは、診療収益と延べ入院患者数・延べ外来患者数を示しています。

江別市立病院は、かつて医師の大量退職を受け内科病棟を閉鎖し、患者数・収益を大きく落とすことがありましたが、その後、医師の確保を中心とした診療体制の強化を図り、診療収益を増加させてきました。

平成28年度は、診療報酬が下がる中、DPC導入や地域包括ケア病棟の導入など医療制度の変化に対応した取り組みにより、診療収益を上向き維持することができました。

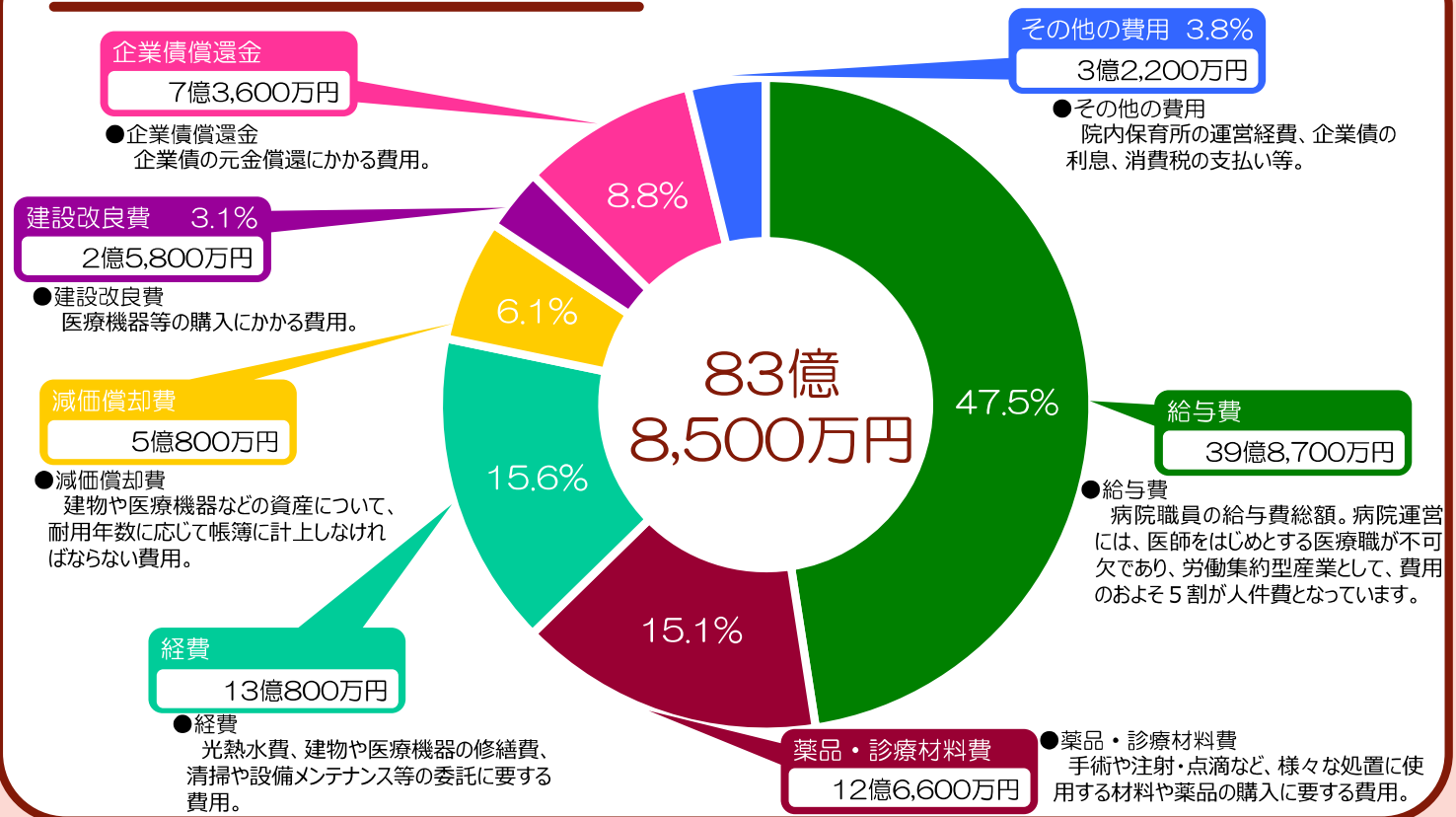
病院事業における収入の内訳

※数値は28年度決算値です。



病院事業における費用の内訳

※数値は28年度決算値です。



病院事業における経営数値

区分	平成28年度決算値
単年度純損益	△4億6,300万円
累積欠損金	△82億7,400万円
不良債務残高	2億6,300万円

- 単年度純損益**
病院事業における年度毎の総収益と総費用の差額。医療機器の購入をはじめとする投資等にかかる収益や費用は含まないことから、上記のグラフに記載の収入と費用の差引には一致しません。
- 累積欠損金**
毎年の単年度純損益の過去からの累積額。その大半は減価償却費など、帳簿上の金額です。
- 不良債務残高**
公営企業における資金の不足額のことです。